

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成19年度病害虫発生予察情報について

このことについて、発生予察注意報第7号（ピーマンのアザミウマ類）を発表したので送付します。

病害虫発生予察 注意報第7号

1 農作物名 ピーマン

2 病害虫名 アザミウマ類

3 予報内容

(1) 発生地域 県本土

(2) 発生量 多

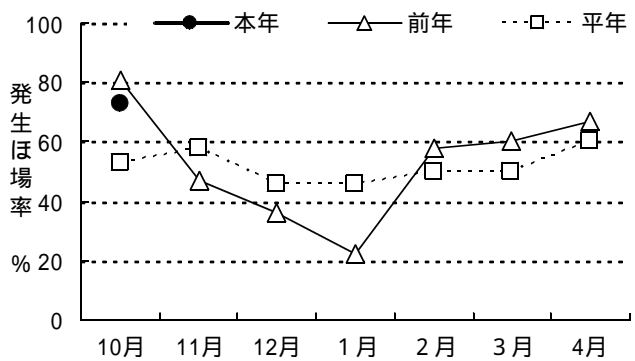
4 注意報発令の根拠

(1) 10月中旬の調査で、発生ほ場率が73%（平成53%）と高く、寄生花率が36%と発生程度の高いほ場も認められた。

(2) 向こう1か月の気温は高いと予報されており、多発する恐れがある。

表.アザミウマ類の発生状況

調査場所	調査ほ場数	発生ほ場数
南さつま市加世田万世	4	2
志布志市志布志町帖	7	5
東串良町柏原	4	4
計	15	11(73%)



5 防除上注意すべき事項

- (1) ハウス開口部（サイド等）から侵入することが多いので、青色粘着トラップを設置し、早期発見と初期防除に努める。
- (2) 本虫は花や新芽の中など薬剤のかかりにくい場所に生息するので、薬剤散布は丁寧に行う。
- (3) 発生種はミナミキイロアザミウマが主体である。本虫は薬剤の感受性が低下している事例があるので、薬剤の選定は注意する（平成19年3月2日付け技術情報第12号参照）。
- (4) 農薬の使用に当たっては、総使用回数等の安全使用基準を厳守する。
- (5) 同一系統薬剤の連用を避け、作用性の異なる薬剤のローテーション散布に努める。